



2023年7月19日

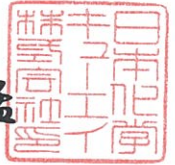
## 第三者検証報告書

株式会社ツムラ

代表取締役社長 CEO 加藤 照和 様

日本化学キューエイ株式会社

代表取締役社長 高橋 猛



### ■ 検証の目的

日本化学キューエイ株式会社（以下、当社）は、株式会社ツムラ（以下、ツムラ）がその責任において作成した「環境パフォーマンス指標」（以下、パフォーマンス指標）について、第三者として独立した立場から検証を実施した。検証の目的はパフォーマンス指標の算出方法、集計方法の合理性及びその数値の正確性について、第三者の立場から、見解を述べることである。

なお、当社及び当社検証員はツムラから独立しており、利害関係はない。

### ■ 環境パフォーマンスデータの対象期間

2022年度（国内拠点：2022年4月～2023年3月、海外拠点：2022年1月～2022年12月）

### ■ 検証事業所

- (1) 国内事業所 : 本社・支店営業所、静岡工場、茨城工場・研究地区、石岡センター
- (2) 国内関係会社 : 株式会社ロジテムツムラ、株式会社夕張ツムラ
- (3) 海外事業所 : 上海津村製薬有限公司、深圳津村製薬有限公司、天津津村製薬有限公司、盛実百草製薬有限公司、LAO TSUMURA CO.,LTD.

### ■ 検証対象

検証対象としたパフォーマンス指標の概要は以下の通り。

- (1) スcope 1 及び 2 : 温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量
  - ・ CH<sub>4</sub>、N<sub>2</sub>O、規制対象フロン類が起源の CO<sub>2</sub>-e を含む。
- (2) 取水量、排水量
  - ・ 本社・支店を除く。静岡工場、茨城工場、上海津村製薬有限公司では水の再利用率を含む。
- (3) 廃棄物排出量、有価物量、再資源化率

### ■ 検証方法

検証は「ツムラ環境集計マニュアル（2022年2月10日版）」（以下、マニュアル）に則り纏められたパフォーマンス指標について、限定的保証水準にて、次の要領にて実施した。なお、検証員は埼玉県目標設定型排出量取引制度検証主任者等の有資格者を選任した。

- ・ パフォーマンス指標を算定するための対象事業所の範囲、集計するパフォーマンス指標、燃料等使用量監視点、データ測定・収集の方法、及び集計・算定方法の妥当性・適切性の確認を実施した。
- ・ 全ての検証事業所において、サンプリングにより入手したパフォーマンス指標に関して証憑書類との突合、データの再集計、CO<sub>2</sub>排出量及び熱量/原油換算エネルギー使用量算定の正確性の確認を実施。なおサンプリングは、検証事業所ごとに量的に多いものから順に項目を選択し、CO<sub>2</sub>排出量、取水量、廃棄物排出量で9割以上をカバーするように行った。
- ・ 本社集計責任者及び各事業所の担当者へのヒアリングは、国内事業所及び国内関連会社については現地への往査にて、海外事業所についてはリモートにて実施した。
- ・ 温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量の検証は、環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver4.9)」及び組織が作成したマニュアルを判断基準とし、検証は「国際保証業務基準第3000号 (ISAE3000)」に準じて実施した。
- ・ 本検証は、サンプリングにより入手したパフォーマンス指標に関して、証憑書類との突合、再計算等による集計データの正確性の確認に重点を置いた限定的保証水準で行ったものであり、合理的保証水準ほど高い水準で行ったものではない。

### ■ 検証の結果

対象としたパフォーマンス指標の収集・集計の仕組みが合理的に構築・運用されていないと認められる事実、また検証を実施した範囲において、パフォーマンス指標が判断基準に従って算定及び報告されていないと疑義を生じさせる証拠は見出されなかった。

以上